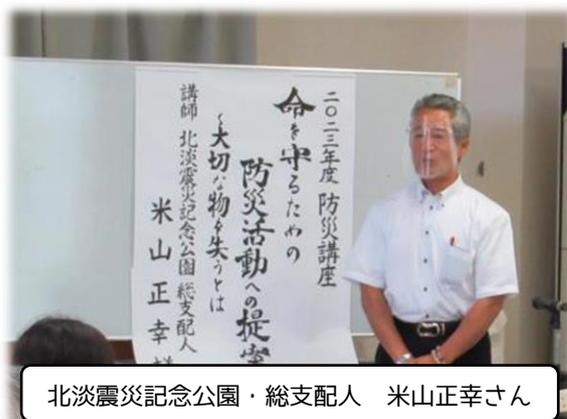


「語りべ講演会」開催報告



7月29日(土)に、防災講座を開催しました。

今回は、阪神淡路大震災の語りべとして活動をされている北淡震災記念公園・総支配人の米山正幸さんを講師としてお招きし、「命を守るための防災活動への提案…大切な物を失うとは」をテーマにお話しいただきました。

米山さんは淡路島の旧北淡町（現淡路市）で被災され、直後から消防団員として救助活動に従事されました。その時

の体験やご自身の思いを、当時の映像を交えながら伝えていただきました。

その日、町民約300人が生き埋めになりましたが、お昼過ぎには全員を救出することができたそうです。その要因として「現職とOBを含めると町民の約1割が消防団として活動していた」「近所の方は誰がどの部屋で寝ているかまで知っていた」などの説明がありました。

今、当学区が被災したとしても、同様の救出活動ができるかと言えばなかなか難しいと思われます。しかしながら日々の備えをすることで“減災”はできると思うので、これからも「自分の命は自分で守る」を念頭に置いて活動をしていきます。